

奉仕活動と行動 (Service as Action)

MYP では Service as Action (以下 SA) として、PYP の「行動」(実際に行い経験することによって学ぶこと) の上に成り立つ「奉仕活動」を経験する。これは、DP の CAS (創造性・活動・奉仕) の Service (奉仕) にあたる活動に引き継がれ、そこで生徒は自分の長所と成長すべき点についての認識を高めていく。

IB の学習者は、人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動し、重なり合う幅広い地域やグローバルコミュニティの中で信念のある行動に取り組むための重要な手段として、他の人々を行う奉仕活動を重視しています。(原則から実践へ より抜粋)

《奉仕活動の学習成果》

MYP では SA に取り組むことで

- ・自らの長所と成長すべき点を自覚するようになります
- ・新しいスキルを発達させるような課題に挑みます
- ・生徒主導の活動を話し合い、判断し、計画します
- ・粘り強く行動を続けます
- ・他の人々と協働します
- ・グローバルな取り組みや多言語主義、多文化理解を通して国際的な視野を発達させます
- ・自らの行動の倫理的意味合いを考えます

生徒は奉仕活動を通じて、IB 学習者像、ATL スキルを養い、自律した学習者となります。

《本校の SA・CAS の展望》

